

進路学習だより

Break-through

打破！

ブレイクスルー

第2号

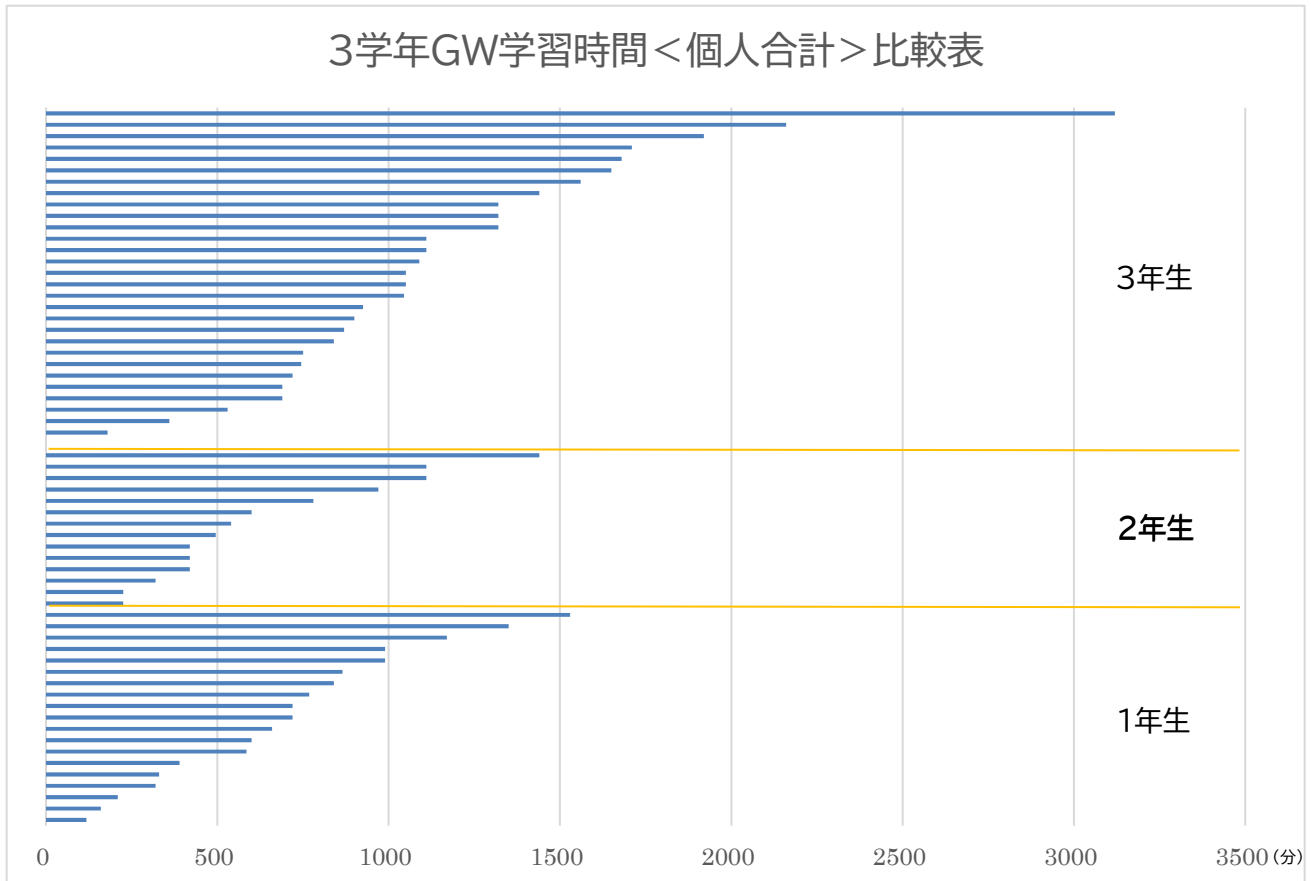
令和4年5月23日((月))

小笠原中学校

進路学習部

◆自分の学習を記録に残すこと

3学年GW学習時間<個人合計>比較表



上の表は GW 学習記録プログラムに記載された学習時間の個人合計です。最長時間は3年生の3,120分(52時間)、最短時間は同じく3年生の0分でした。ちなみに平均にすると、3年生は1,129分(18.8時間)、2年生は648分(10.2時間)、1年生は701分(11.7時間)でした。

GW 学習記録プログラムが終わりましたが、みなさんはどのように記録を取ったのでしょうか。

- ・学習時間にマーカーで色を付けてわかりやすくしてみた。
- ・学習内容を事細かに書いて、自分が学習した内容を振り返られるようにした。
- ・学習内容は表の空いているところにまとめて書いて、表には☆などの記号でわかりやすく書いた。

さまざまな工夫が見られました。その一方で、

「とりあえず書けばいいと思ってテキトーに書きました。」

「時間なかったので急いでました。」(結果、解読できない文字になっている。)

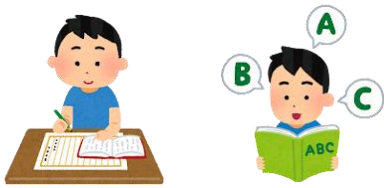
など、『やらされているからやる』という状態になってしまっている人も残念ながら見受けられます。

自分に合った記録方法を見つけるということは、すぐにできることではありません。周囲のやり方を参考にしつつ、書籍やインターネット上で様々なやり方を調べ、試行錯誤しながら見つけていくものです。学習記録プログラムや学習計画表を作成する機会を有効に活用していきましょう。

◆あなたの学習スタイルは

「暗記」と聞くと、どのような方法を思いつきますか。

- ①ひたすらノートに覚えたいことを書く。それを何回も繰り返す。
- ②ラップにしたり、歌のように口ずさみながら覚える。
- ③覚えたい言葉をイラストにしてみる。
- ④覚えたいことに関連性を見つけて、覚える。
- ⑤手を動かしたり、足踏みをしたりしながら、体の動きとともに覚える。



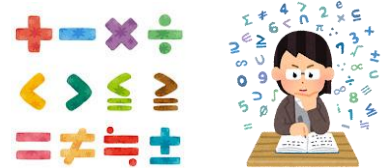
①で暗記が進む人は、「言語的学習スタイル」が合っています。板書をノートに書き写したり、教科書を読むだけでも学習したい内容が頭に入ってくるタイプとも言えます。

②で暗記が進む人は、「聴覚的学習スタイル」が合っています。楽器の演奏や歌うことに楽しさを見出し、音楽やリズム、韻を用いると、学習がはかどるそうです。



③で暗記が進む人は、「視覚的学習スタイル」が合っています。そもそも絵を描くのが好きということもありますが、イラストや図表で情報を整理することができ、空間認識も優れていると言われています。

④で暗記が進む人は、「論理的学習スタイル」が合っています。数学が得意な人が多く、パターンを見つけたり、必要な作業をリスト化し、優先順位を付けることも得意なのだそうです。



⑤で暗記が進む人は、「身体的学習スタイル」が合っています。机に向かってじっと座って学習するよりも少しでも体を動かしながら学習に取り組んでみる方がよいと言われています。

①～⑤の1つだけではなく、組み合わせて自分に合った学習スタイルを見つけ、来月の定期考査に向けて自分の力を十分に発揮できるように取り組んでみましょう。